



## 南小児童が伝統的な農作業を体験

**大** 石田南小の4年生児童が10月11日(火)にそばの刈り取り作業を、10月25日(火)には、5年生児童が稲の脱穀作業を体験しました。これは、伝統的な農業や町の特産品に触れてもらいたいとの思いから、横山地域農地・水・環境保全組織(森秀雄会長)の協力で毎年実施している事業です。

このうち、稲の脱穀作業では、昔ながらの足踏み式脱穀機や唐箕を使った脱穀作業を5年生児童11人が体験しました。児童たちは、指導者の有川稔さんや小内正美さんたちに手ほどきを受けながら、慣れない作業に苦戦しながらも、自分たちが植えて、収穫した米の脱穀作業を行っていました。

参加した児童の森琉華さんは、「昔ながらの稲の脱穀作業を体験できました。脱穀機や唐箕を使った作業は、手足を同時に使うもので難しかったです。このほかにも学校では、地域の先生に大黒舞を習っています。故郷の伝統を大切にしたいです」と話していました。



## 貴重な活弁の世界を体験 大石田町民大学活弁講座

**大** 石田町民大学活弁講座「活弁の世界を体験しよう」が、10月22日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

活弁とは活動弁士の略で、無声映画時代にスクリーンの傍らで、映画の解説や登場人物の台詞、情景の説明などを行った職業のことで、現在活動されている活動弁士は国内に十数人しかいません。

講師に、酒田市出身で平成12年から活動されている佐々木亜希子さんをお迎えし、今ではなかなか見ることができない貴重な生の活弁を体験しました。

佐々木さんは、表情豊かな7色の声やベルなどの効果音を巧みに使って、来場者を楽しませていました。



## 齋藤茂吉が暮らした「聴禽書屋」で 芸工大生による学外展示展を開催

**東** 北芸術工科大学日本画コース3年生による学外展示「いまだうつくしき断片展」が、10月25日(火)から11月6日(日)まで町立歴史民俗資料館「聴禽書屋」で行われました。同大学の美術科日本画コースでは、3年生後期の演習で学外企画展示を行っています。そのうち、安田美穂さんたち5人のグループは、齋藤茂吉の歌集「白き山」から各々が歌を選び、日本画を制作、展示する「いまだうつくしき断片展」を企画しました。

リーダーの安田美穂さんは、「茂吉が見ていた情景を想像しながらたくさんの人に見てもらいたいです」と話していました。



## 今年で10周年!にぎフェスを開催 大石田にぎフェス2022

**大** 石田にぎフェスが、10月23日(日)に虹のプラザ「エントランス」と駐車場で開催されました。にぎフェスは、大石田町で名物のそばを通して町を盛り上げようと、大石田にぎりばっと部(高橋陽介部長)が実施しているイベントで、今年で10回目の開催となります。

今年は町の郷土料理「にぎりばっと」や冷たい肉そばなどの飲食ブースのほか、ハンドメイドマルシェ、LIVEステージなど10周年にふさわしい盛りだくさんの内容となり、会場は賑わいをみせていました。



## キッズタウンでお仕事体験! 第11回キッズタウン大石田

**キ** ュッズタウン大石田が10月23日(日)に虹のプラザで開催されました。これは、キッズタウン大石田実行委員会(高橋堅代表)が主催し、毎年行われているものです。子どもたちは、会場に設けられたお店のブースで仕事を体験し、そこで得たポイントをイベント用通貨に交換して買い物を楽しみました。

会場には、食料品店や銀行、接骨院など町内のさまざまな業種の事業所や団体のブースが出展され、子どもたちは楽しみながら働くことを学んでいました。



## 町税口座振替 キャンペーン抽選会を開催

**町** 税口座振替キャンペーンの抽選会が、10月14日(金)に行われました。キャンペーン期間中の4月から9月までに口座振替を申し込んだ対象者93人に町指定のもやせるごみ袋をプレゼント。さらに抽選で10人の方にあったまりランド深堀共通利用券5,000円分が贈られました。

たくさんのお申し込み大変ありがとうございました。